

発行日：2018年11月25日

担 当：ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局
(一般財団法人日本花普及センター)



ジャパンフラワーセレクション2018-2019 ガーデニング部門 秋審査会 審査結果の発表

全国規模の花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション」のガーデニング部門では、このたび、秋に花壇やコンテナ等で楽しむことができる品種を選定する秋審査会において、4品種の審査を実施しました。

審査は、千葉大学環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市：千葉大学柏の葉キャンパス）にあるJFSトライアル花壇において栽培試験を実施し、生育過程の観察を行いました。

選定された品種は、認定登録を行うことにより花の業界が推奨する品種として「JFS受賞マーク」を表示して販売されることとなります。

なお、これらの中から、特別なインパクトを持つ品種に与えられる特別賞の受賞品種も決定いたしました。

【実施概要】

■ 審査会日時:

秋審査会 2018年11月13日（火）15:00～17:30

■ 開催場所：千葉大学環境健康フィールド科学センター (千葉県柏市)

■ 審査品種：ガーデニング部門 秋審査対象4品種

■ 入賞品種：4品種



【審査委員】

国内の花き業界を代表する学識者、ガーデンデザイナー、花の市場関係者などが、公正な視点で専門的に審査を行いました。

福永 哲也 豊明花き(株) 代表取締役社長（ガーデニング部門長）

尾崎 明弘 (株)オザキフラワーパーク 代表取締役

杉井 志織 はなぐみ 代表

村上 智弘 (株)フラワーオークションジャパン 鉢物部 次長

山口 まり (一社)日本ハンギングバスケット協会 理事

渡辺 均 千葉大学環境健康フィールド科学センター 准教授



<ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局>

TEL 03-3664-8739

FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp

ホームページ : <http://www.jf-selections.net>



<ジャパンフラワーセレクションとは>

ジャパンフラワーセレクション（JFS）とは、2006年4月からスタートした日本で唯一の統一的花きの新品種認定事業です。『いい花の新基準。』を合言葉に、毎年、次々と市場に出回る花きの新品種のなかから、生活者へ自信をもって推奨できる新品種を公正な立場で審査し、業界として推奨できる品種を選定して「ジャパンフラワーセレクション受賞品種」として発表しています。

審査は、切花部門、鉢物部門、ガーデニング部門の3部門で行われています。これら受賞品種は、認定登録を経て専用のロゴマーク（JFSマーク）を付けて販売されています。

なお、各審査会で選定されるベスト・フラワー（優秀賞）は、年末に開催される中央審査委員会でフラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）の選考会にノミネートされます。

<JFS受賞マークについて>



このマークが、生活者に「これが優れた新品種です」とお知らせするJFS受賞マークです。日本語の「花」と英語の「Flower」をかけあわせて新しい花の固有性を表現しました。世界の新品種コンテストとしては、北米を中心とした全世界的なオールアメリカセレクション、ヨーロッパを中心としたフローロ・セレクトがありますが、アジア発、日本発の新品種のコンテストは、このジャパンフラワーセレクションがはじめてです。

ジャパンフラワーセレクション ガーデニング部門のご案内

<JFS2019 春審査会・夏秋審査会 出品募集中！>

2019年1月末締切

審査会場：千葉大学環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市）

ガーデニング部門の審査は、数か月にわたりJFSの審査花壇（千葉大学）にて栽培記録をつけ生育経過を観察し行います。苗物としての販売物はガーデニング部門にご出品ください。

■出品料：1品種30,000円（税別）

*以下①②の条件に該当する方は、1品種10,000円（税別）です。

（減免対象者が2015年4月1日から一部変わりました）

①（一財）日本花普及センターの賛助会員のうち団体会員A

（都道府県、各種団体、企業、協同組合）

もしくは団体会員Aである都道府県内の生産育種農家。

② 全国新品種育成者の会の会員

*千葉大への苗の搬入可能日は、毎週火曜日午前中となります。

（苗の納入日は変更になる場合があります）

■JFS出品対象品種

① 日本での種苗登録もしくは本格的な販売開始から概ね5年以内の品種

② 日本における商業的な生産・流通・販売が期待されるもの（海外で育種されたものも含む）

③ 種苗法や遺伝子組み換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律等の法令違反を犯していない品種であること。

■JFS出品申請者資格

以下のいずれかに該当する方が出品可能です。

① 品種の育成者権（同品種を業として扱う権利）を持つ者

② 契約により日本における販売代理権を持つ者

（海外で育成された品種も出品可能）



▲審査会場（露地花壇・屋根付き施設）の様子

お問い合わせはこちらへ

<ジャパンフラワーセレクション実行協議会 事務局>

TEL 03-3664-8739 FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp ホームページ: <http://www.jf-selections.net>

ジャパンフラワーセレクションの賞体系について



1. フLOWER・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)

各部門の中で最も優れた1品種に授与します。各審査会での「ベスト・フラワー(優秀賞)」(10点満点の8.0点以上)から、得点、授賞に対する評価、ガーデニング部門は栽培状況データなども踏まえて、11月下旬の中央審査委員会での協議審査の結果、切花・鉢物・ガーデンニングの各部門で各1品種ずつ選ばれます。

2. ベスト・フラワー(優秀賞)

各部門で、姿、形、デザインに加えて栽培のしやすさなど全体的にバランスのよい優れた品種に授与されます。各審査会でのジャパンフラワーセレクション入賞品種の中から10点満点の8.0点以上と採点された品種です。

3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での受賞品種(10点満点の7.0点以上)の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。なお、以下の賞が設定されていますが、該当する品種がない年は、授与されません。

「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあただけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたしてくれる品種に授与されます。

「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでになかった新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」

これまで以上に比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種に授与されます。

「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでになかった価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「カラークリエイティブ特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「ジャパンデザイン特別賞」

日本らしさを持ち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあただけで日々の生活を楽しみさせ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者や買参人等のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。(切花部門・鉢物部門のみ)

4. ジャパンフラワーセレクション入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記の1~3の候補となります。

ジャパンフラワーセレクションに入賞した品種は、認定登録を行うことで専用ロゴマークを利用した販売活動等が可能になります。(マークの使用期限はありません)ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。JFS認定ロゴマークを利用し、入賞品種のPRにご活用ください。

日本フラワー・オブ・ザ・イヤーおよび特別賞受賞品種の授賞式(東京大学弥生講堂)

2018年度のフラワー・オブ・ザ・イヤーおよび特別賞の授賞式は、2018年12月5日(水)東京大学弥生講堂にて行います。例年、内閣総理大臣夫人もしくは農林水産大臣夫人を特別ゲストにお呼びして、その年の代表的な品種を表彰しています。



(写真は2017年の授賞式の様子: 東京大学農学部弥生講堂) 特別ゲストには受賞者からお花のプレゼントが渡され、記念撮影を行います。

カラークリエイト特別賞



11/13撮影

品目名 : ジニア
 品種名 : プロフェュジョン レッド
 受賞者 : 株式会社 サカタのタネ(神奈川県)
 ホームページ : <http://www.sakataseed.co.jp>
 育成者 : 佐藤智博 / 峰村慎司
 審査講評 : 発色の良い鮮明な赤色の大輪ジニア。離れた場所から見ても素晴らしい存在感がある。

筒状花の色が舌状花に近いので、花が終わりかけても終わった様子に見えにくく、一輪の花がきれいに長く観賞できる。また、花壇にもコンテナにも寄せ植えにも使いやすく、エンドユーザーに対するおすすめポイントが多い。

今回は、秋の時期の短期間での観察であったが、耐暑性や耐病性など暑い時期のパフォーマンスにも期待したい。

カラークリエイト特別賞を受賞。



11/13撮影

11/13撮影



▲定植時の屋根付き施設での様子 (10/5撮影)



▲定植後17日の屋根付き施設での様子 (10/22撮影)



▲定植後31日の屋根付き施設での様子 (11/5撮影)



▲定植後39日の屋根付き施設での様子 (11/13撮影)



▲定植後 4日の露地花壇・群落植栽の様子 (10/9撮影)



▲定植後31日の露地花壇・群落植栽の様子 (11/5撮影)



▲定植後39日の露地花壇・群落植栽の様子 (11/13撮影)

グッドパフォーマンス特別賞



11/13撮影

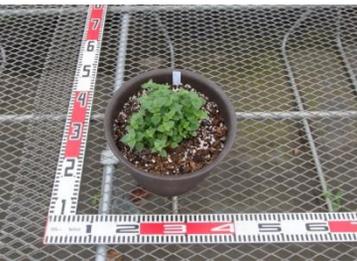
品目名 : ディアスシア
 品種名 : ラパージュ シルクアプリコット
 受賞者 : 松原園芸(群馬県)
 ホームページ : <http://matsubaraengei.blog.fc2.com/>
 育成者 : 松原 紀嘉
 審査講評 : 優しいアプリコットカラーのディアスシア。原色系でない、オレンジともピンク色とも違うアプリコット色のため、他の花ともカラーコーディネートしやすく、またカラーリーフなどとあわせても楽しめる。主役としてもわき役としても幅広く使える。

水平に広がりながら上方向にも伸び、バランスよく安定した草姿。定植して短期間で花も密に咲き、エンドユーザーが失敗なく育てやすい。不稔性で種子がつきにくいいため、株が長持ちすることもポイント。初夏～夏の蒸れが出る時期に耐暑性や耐病性を見てみたい。

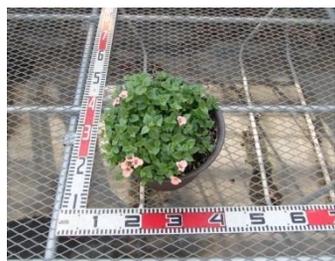
扱い易く、育てやすい品種としてグッドパフォーマンス特別賞を受賞した。



11/13撮影



▲定植後4日の露地花壇・群落植栽の様子 (10/9撮影)



▲定植後17日の露地花壇・群落植栽の様子 (10/22撮影)



▲定植後31日の露地花壇・群落植栽の様子 (11/5撮影)

▲定植後39日の露地花壇・群落植栽の様子 (11/13撮影)



▲定植後4日の露地花壇・群落植栽の様子 (10/9撮影)



▲定植後31日の露地花壇・群落植栽の様子 (11/5撮影)



▲定植後39日の露地花壇・群落植栽の様子 (11/13撮影)

入賞



11/13撮影

品目名 : ジニア
 品種名 : プロフュージョン チェリーバイカラー
 受賞者 : 株式会社 サカタのタネ(神奈川県)
 ホームページ : <http://www.sakataseed.co.jp>
 育成者 : 佐藤 智博、峰村 慎司
 審査講評 :



白色ににじむようなピンク系の色が入るバイカラー品種のジニア。間延びしない草姿は、ハンギングバスケットやコンテナ植栽におすすめ。
 今回は、秋の時期の短期間での観察であったが、耐暑性や耐病性など暑い時期のパフォーマンスにも期待したい。複色化は育種の進展を感じさせ、今後の色バリエーション展開への期待という意味でも評価できる品種。



▲定植時の屋根付き施設での様子 (10/5撮影)



▲定植後17日の屋根付き施設での様子 (10/22撮影)



▲定植後31日の屋根付き施設での様子 (11/5撮影)



▲定植後39日の屋根付き施設での様子 (11/13撮影)



11/13撮影



品目名 : ジニア
 品種名 : プロフュージョン レモン
 受賞者 : 株式会社 サカタのタネ(神奈川県)
 ホームページ : <http://www.sakataseed.co.jp>
 育成者 : 佐藤 智博、峰村 慎司
 審査講評 :

蛍光色に近いレモンイエローのジニア。夏の時期の色合いとも思いがちだが、日が短くなる秋にはっきり見える色としての利用方法もあるかもしれない。
 分枝性も良く、多花性であるが、咲き進むとやや筒状花部分の汚れが気になる。
 今回は、秋の時期の短期間での観察であったが、耐暑性や耐病性など暑い時期のパフォーマンスにも期待したい。



▲定植後 4日の露地花壇・群落植栽の様子 (10/9撮影)



▲定植後31日の露地花壇・群落植栽の様子 (11/5撮影)



▲定植後39日の露地花壇・群落植栽の様子 (11/13撮影)



ご存知ですか？このマーク。
「いい花の新基準。」
ジャパンフラワーセレクション。